

第4編
手術料

公益財団法人 労災保険情報センター

◆ 四肢の傷病に対する手術の特例

- 四肢加算(四肢の傷病に係る加算)
- 手の指に係る手術の特例
 - 創傷処理(筋肉・臓器に達しないもの)
 - 骨折非観血的整復術
 - 同一手術野の取扱い
- 手指の機能回復指導加算
- 術中透視装置使用加算



四肢加算

1.5倍

鎖骨・肩甲骨・股関節含む



2.0倍

手及び手の指
(手関節含む)

創傷処理

皮膚切開術

デブリードマン

筋骨格系・四肢・体幹の手術

神経の手術

血管の手術

ポイント①

**形成の手術
は対象外！**

● ● ●
手の指に係る

● ● ● ● ● ●
〔創傷処理(達しないもの)

〔骨折非観血的整復術

労災独自の点数で算定のため

対象外！

例題

K000 創傷処理(達しないもの)4cm を行った場合

① 右足背

② 右手背

③ 顔面

労災

健保

① 右足背

四肢加算

530点 × 1.5 = 795点

② 右手背

四肢加算

530点 × 2.0 = 1,060点

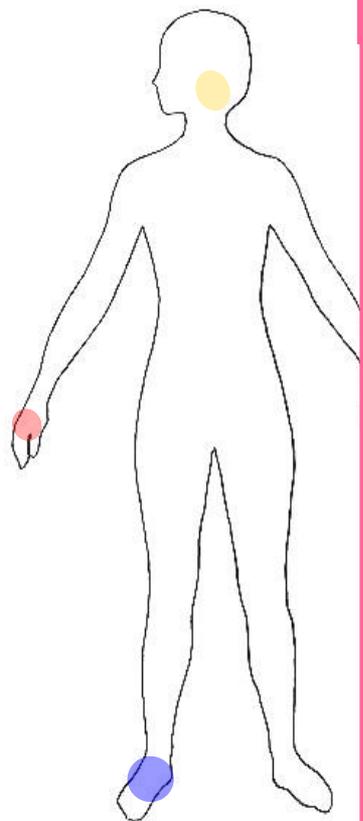
③ 顔面

530点

530点

530点

530点



例題

手背に真皮縫合を伴う
K000創傷処理(達しないもの)4cmと
デブリードマンを行った場合

真皮縫合とデブリードマンを行った
場合、四肢加算は？

手技料の注加算・・・四肢加算可

創傷処理 4

真皮縫合
加算

デブリードマン
加算

四肢加算

(530点 + 460点 + 100点) × 2.0

= 2,180点



四肢加算

ポイント

四肢加算の対象ではないもの

通則の加算

通則 1 2 (時間外等の加算)
は四肢加算の対象！

医療機器等加算

特定保険医療材料料

薬剤料・輸血料・麻酔料

算定例 6

右肩甲骨にK046骨折観血的手術を行った場合
 [閉麻5(口) (1時間30分)
 C型肝炎感染患者の場合

労災

骨折観血的手術 1	四肢加算	
21,630 × 1.5	=	32,445点
C型肝炎感染患者加算		1,000点
閉麻5(口)		6,000点
合計		39,445点

健保

骨折観血的手術 1	21,630点
C型肝炎感染患者加算	1,000点
閉麻5(口)	6,000点
合計	28,630点

通則 1 1 (C型肝炎感染患者加算)

麻醉料

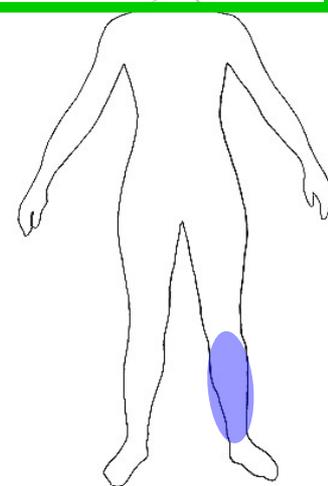
四肢加算 不可

例題

左脛骨の粉碎骨折にK046骨折観血的手術と
創外固定を行った場合（時間外）

健保

骨折観血的手術 2	時間外加算	
18,370点	× 1.4	= 25,718点
創外固定器加算		10,000点
		35,718点



例題

左脛骨の粉碎骨折にK046骨折観血的手術と
創外固定を行った場合（時間外）

労災

骨折観血的手術 2

時間外加算 四肢加算

$$18,370\text{点} \times 1.4 \times 1.5 = 38,577\text{点}$$

創外固定器加算

10,000点

48,577点

通則 1 2 (時間の加算)

四肢加算 可

医療機器等加算(創外固定器加算) 四肢加算 不可

例題

左脛骨の粉碎骨折にK046骨折観血的手術と創外固定を行った場合（時間外）

労災

骨折観血的手術 2	時間外加算	四肢加算	
18,370点	× 1.4	× 1.5	= 38,577点
創外固定器加算			= 10,000点
			<hr/>
			48,577点

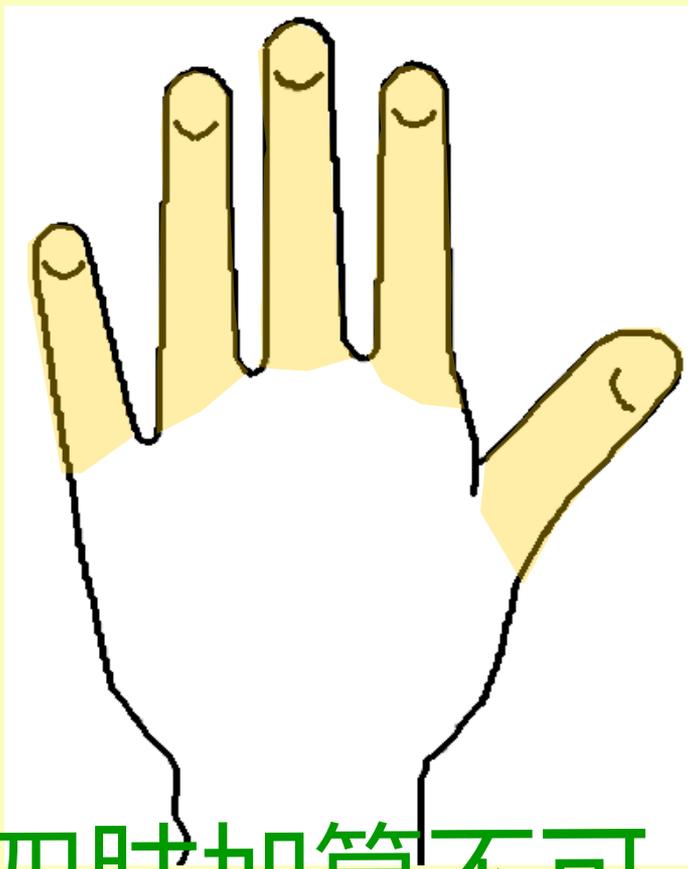
健保

骨折観血的手術 2	時間外加算		
18,370点	× 1.4	= 25,718点	
創外固定器加算		= 10,000点	
<hr/>			
			35,718点



手の指に係る創傷処理

筋肉・臓器に達しないもの



労災独自の点数

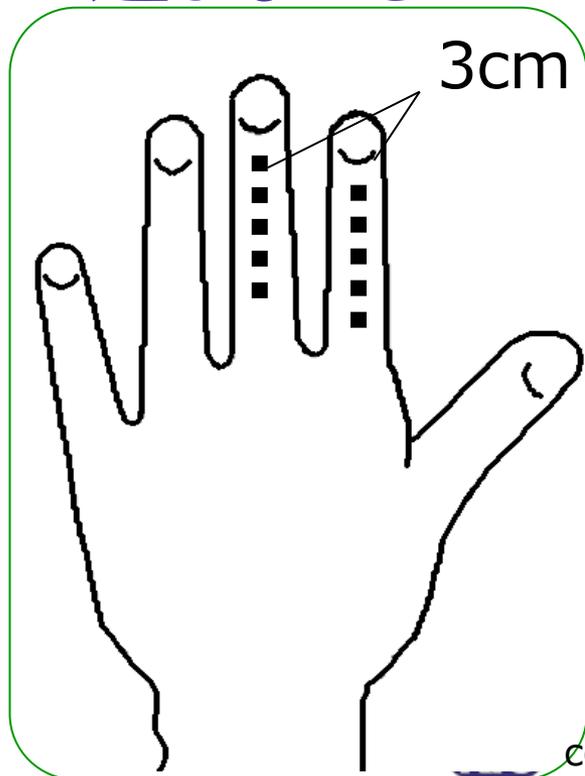
指 1 本	1,060点
指 2 本	1,590点
指 3 本	2,120点
指 4 本	2,650点
指 5 本	2,650点

四肢加算不可！

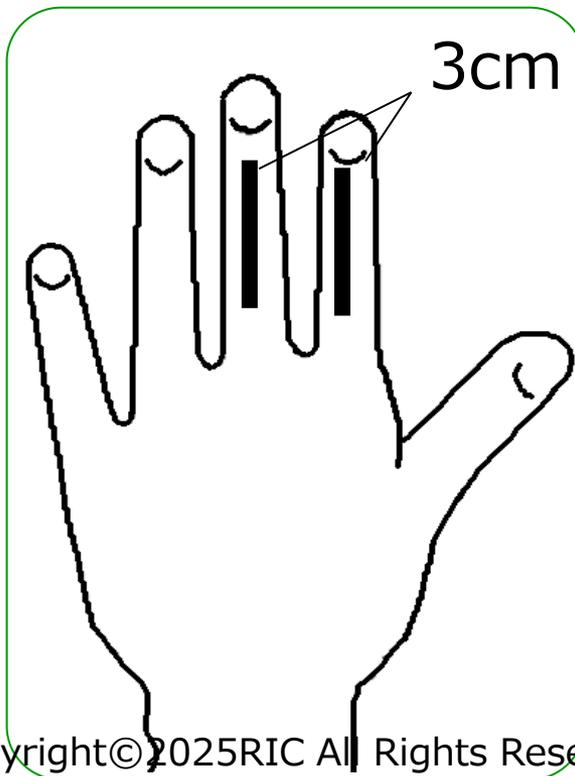
算定例2

第2指、第3指の挫創に対し、次のように
創傷処理とデブリードマンを行った場合

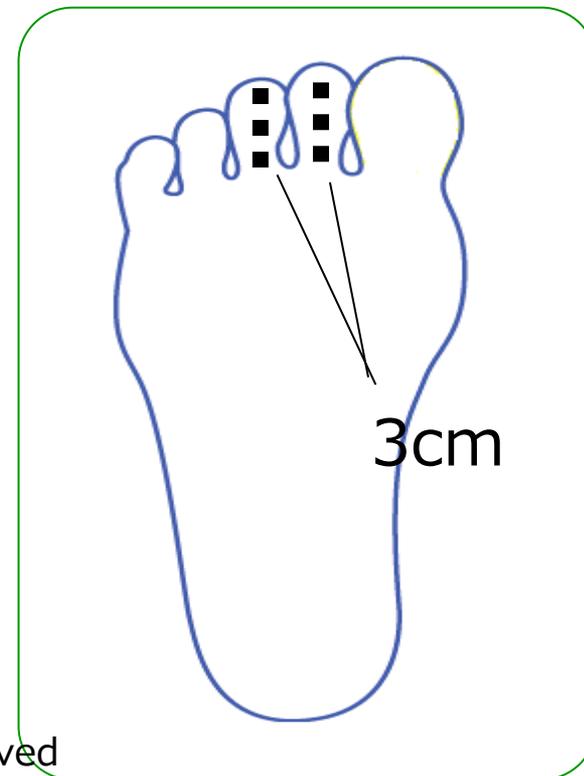
①手の指
達しないもの



②手の指
達するもの



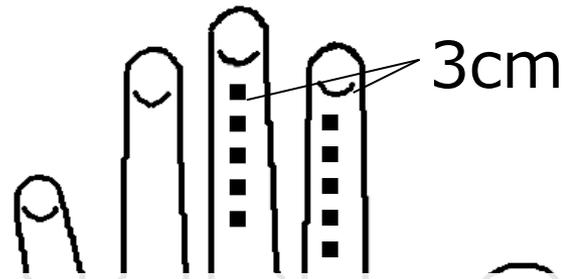
③足の指
達しないもの



算定例 2

① 手の第2指、第3指の挫創に対し
 創傷処理(筋肉・臓器に達しないもの) 3 cm、
 デブリードマンを各々行った場合

① 達しないもの ➡ 労災独自の点数



創傷処理(達しないもの)指 2本 1,590点

デブリードマン加算 100点 × 四肢加算 2.0 = 200点

合計 1,790点

算定例 2

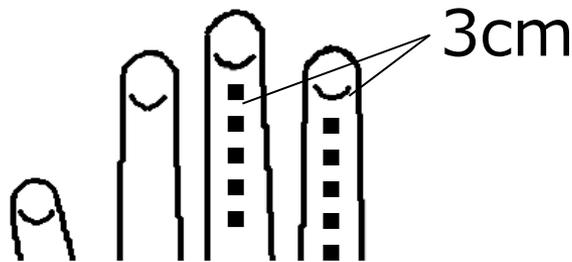
② 手の第2指、第3指の挫創に対し
 創傷処理(筋肉・臓器に達するもの) 3 cm、
 デブリードマンを各々行った場合

(四肢加算)

② 達するもの



健保点数の2.0倍



創傷処理 2

デブリードマン
 加算

四肢加算

$$(1,880\text{点} + 100\text{点}) \times 2.0 = 3,960\text{点}$$

算定例 2

③ 足の第2趾、第3趾の挫創に対し
創傷処理(筋肉・臓器に達しないもの) 3 cm、
デブリードマンを各々行った場合

③ 足の指
(達しないもの)

(四肢加算)

⇒ 健保点数の1.5倍



創傷処理5

デブリードマン
加算

四肢加算

$$(950点 + 100点) \times 1.5 = 1,575点$$



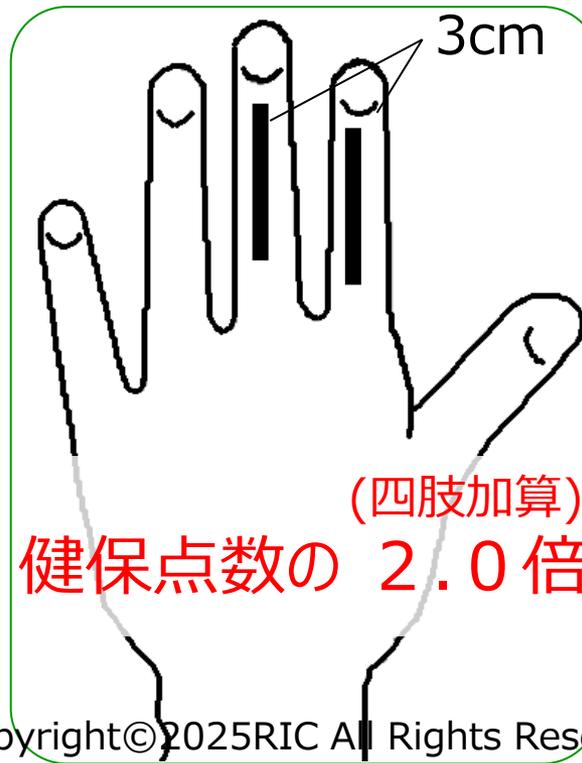
算定例2

第2指、第3指の挫創に対し、次のように
創傷処理とデブリードマンを行った場合

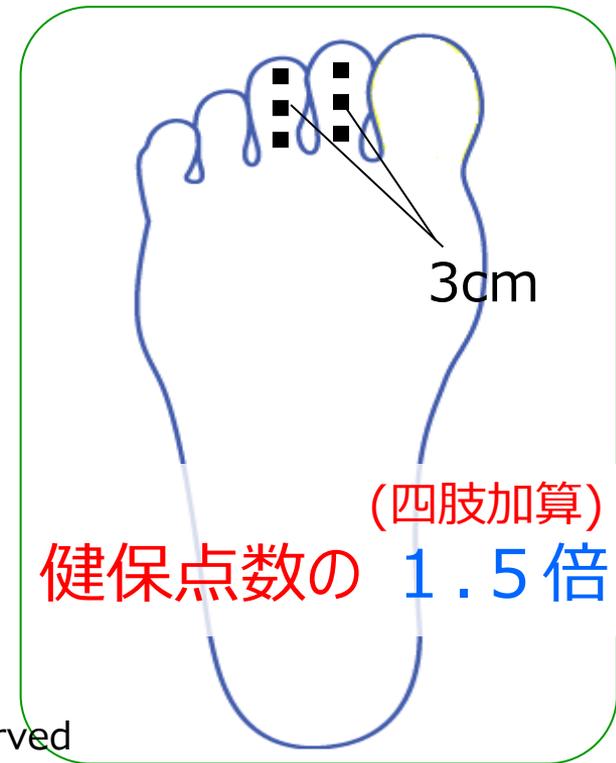
①手の指
達しないもの



②手の指
達するもの



③足の指
達しないもの



初診時ブラッシング料

91点

同一傷病につき1回(初診時)

ポイント

① 四肢加算 算定不可

② 時間外加算 算定可

③ デブリードマン

(デブリードマン加算含む)

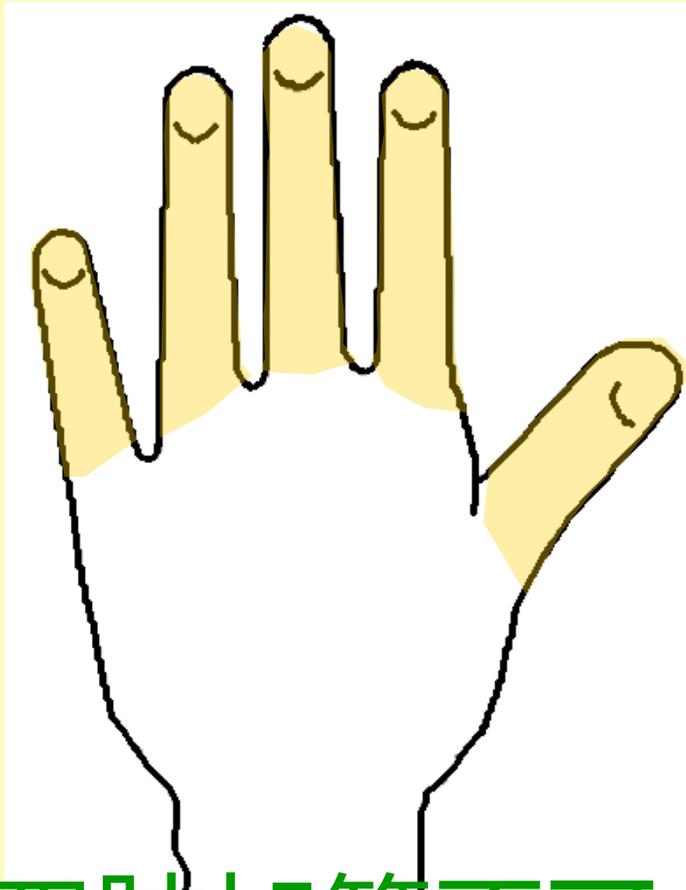
重複算定不可

初診時ブラッシング料を含む処置、手術の点数の合計が
150点以上 の場合
に限る！

レセプト記入例（算定例2①）

	摘	要
50	*創傷処理（筋肉・臓器に達しないもの） （指2本）（左手第2指・第3指） *デブリードマン加算 （100×2.0） （手術日〇〇年〇〇月〇〇日）	1,590×1 200×1

手の指に係る骨折非観血的整復術



労災独自の点数

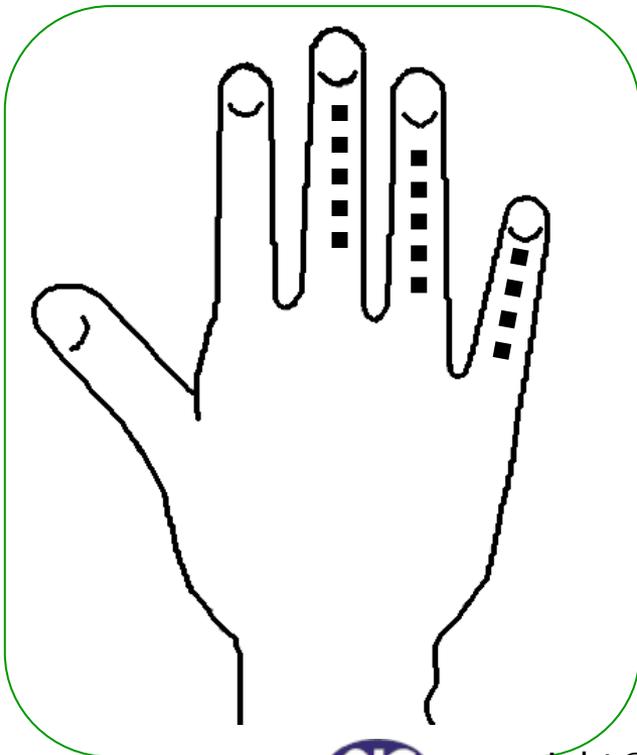
指1本	2,880点
指2本	4,320点
指3本	5,760点
指4本	7,200点
指5本	7,200点

四肢加算不可!

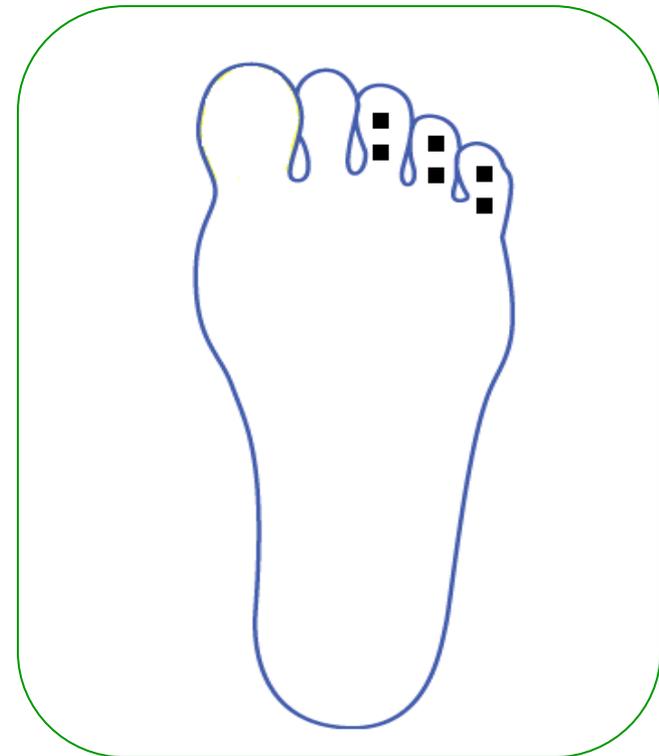
算定例3・4

第3指、第4指、第5指の骨折に
K044骨折非観血的整復術を行った場合

算定例3 手の指



算定例4 足の指



手の第3指、第4指、第5指の骨折に対し
K044骨折非観血的整復術を行った場合

手の指

➡ **労災独自の点数**



骨折非観血的整復術（指3本） **5,760点**

足の第3趾、第4趾、第5趾の骨折に対し
K044骨折非観血的整復術を行った場合

足の指



(四肢加算)



健保点数の1.5倍

骨折非観血的整復術 3

1,440点

×

四肢加算

1.5

=

2,160点

算定例3・4

第3指、第4指、第5指の骨折に
K044骨折非観血的整復術を行った場合

算定例3 手の指



算定例4 足の指



レセプト記入例（算定例3）

摘 要

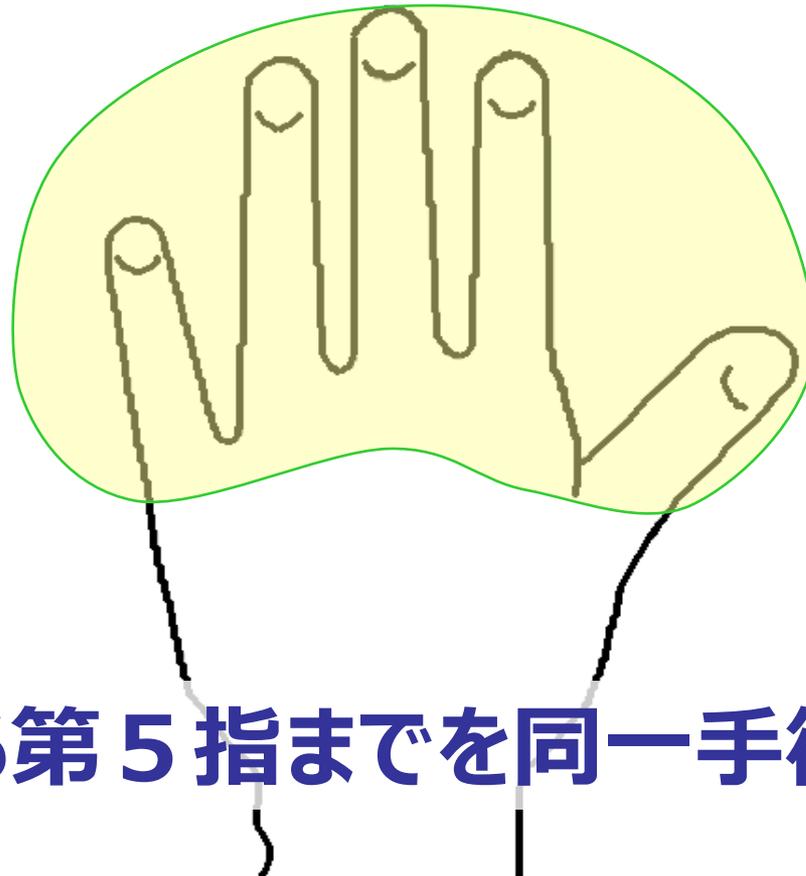
50	*骨折非観血的整復術（指3本） （右手第3指・第4指・第5指） （手術日 ○年 ○月 ○日）	5,760 × 1
----	--	-----------

創傷処理と骨折非観血的整復術

	手の指 に係る <small>に係る</small>	四肢 に係る <small>(手の指以外)</small>
骨折非観血的 整復術	労災独自の 点数	健保点数に 四肢加算
創傷処理 (達しないもの)		
創傷処理 (達するもの)	健保点数に四肢加算	

創傷処理（達しないもの） 骨折非観血的整復術 手の指に係る同一手術野の範囲

健保



第1指から第5指までを同一手術野とする手術

創傷処理（達しないもの） 骨折非観血的整復術 手の指に係る同一手術野の範囲

労災



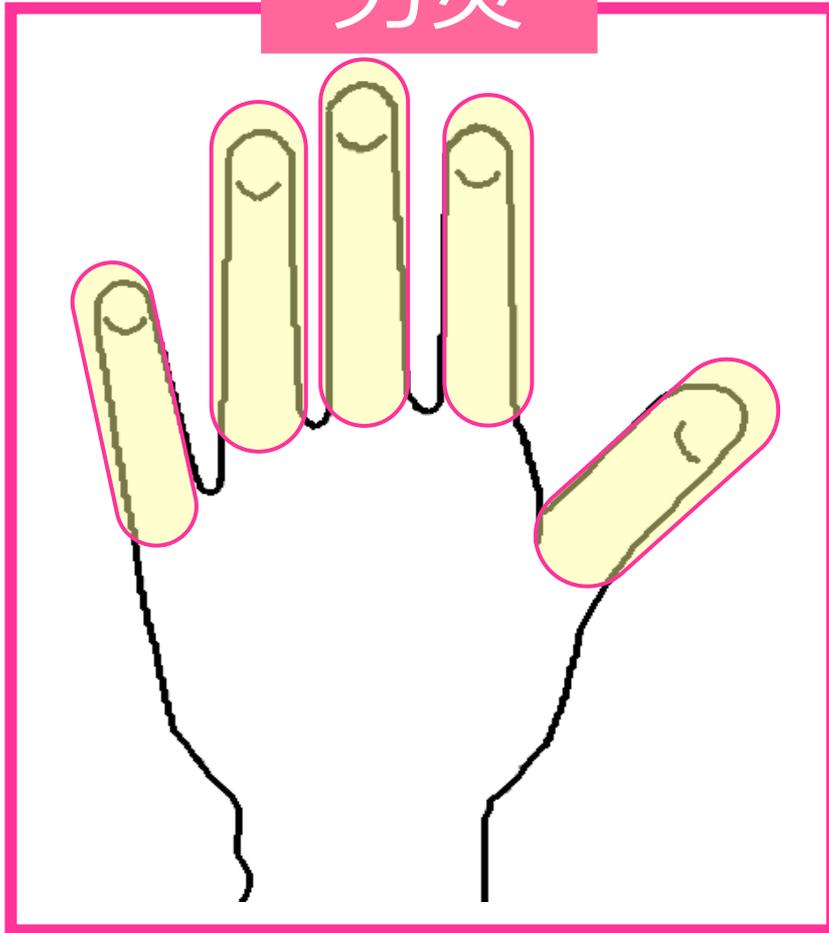
第1指から第5指（中手部・中手骨を含まない）
までを別の手術野とする手術として取り扱う

創傷処理（達しないもの）

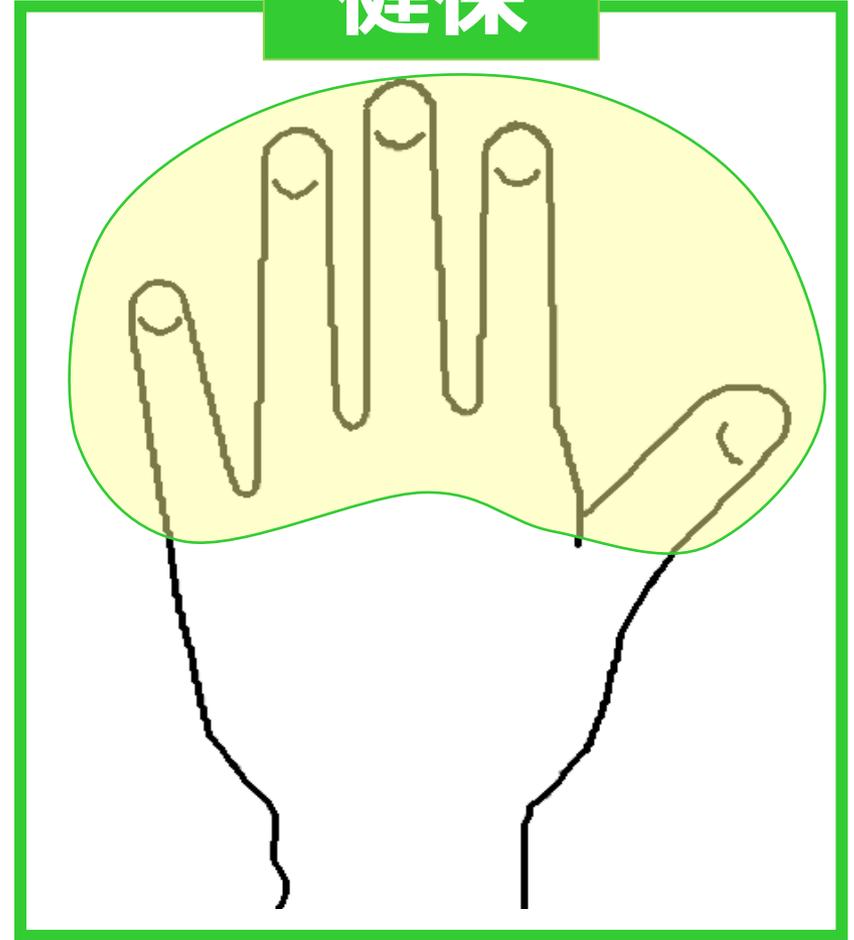
骨折非観血的整復術

手の指に係る同一手術野の範囲

労災



健保



算定例7

左手指に次の手術を行った場合

第1指 K044 骨折非観血的整復術

第2指 K000 創傷処理(達しないもの) 3 cm

労災



通則14 (4)-ア

骨折非観血的整復術

(指1本) 2,880点

創傷処理(達しないもの)

(指1本) 1,060点

合計

3,940点

健保



通則14 (4)-イ

1,440点

~~530点~~

合計 1,440点

例題

左手指に次の手術を行った場合

第1指 K044 骨折非観血的整復術

第2指 K000 創傷処理(達するもの) 3 cm

労災

通則14(4)-工

骨折非観血的整復術(指1本)

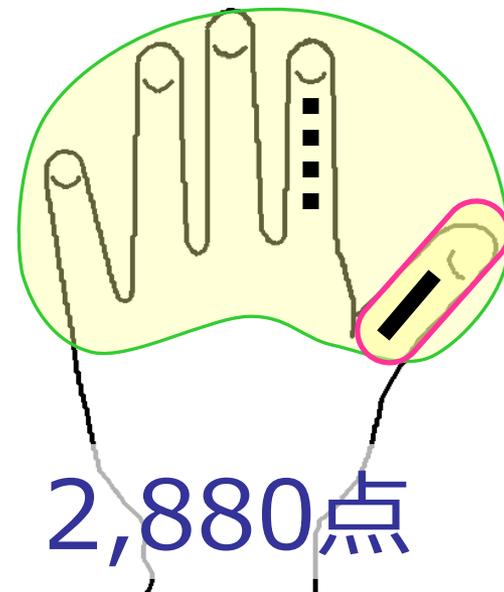
2,880点

~~創傷処理1(達するもの) 四肢加算~~

~~1,400点 × 2.0 = 2,800点~~

合計

2,880点



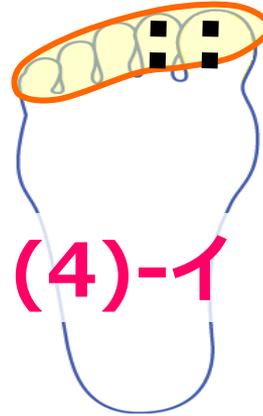
算定例8

左足指に次の手術を行った場合

第1趾 K044 骨折非観血的整復術

第2趾 K000 創傷処理(達しないもの) 3 cm

労災



通則14 (4)-イ

骨折非観血的整復術

四肢加算

1,440点 × 1.5 = 2,160点

創傷処理(達しない)

四肢加算

~~530点 × 1.5 = 795点~~

合計 2,160点

健保



通則14 (4)-イ

1,440点

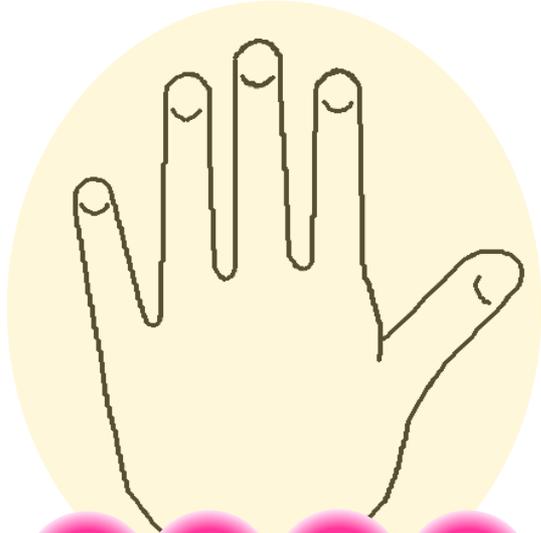
~~530点~~

合計 1,440点



手指の機能回復指導加算

手関節以下



190点（1回限り）

創傷処理

皮膚切開術

デブリードマン

筋骨格系・四肢・体幹の手術

ポイント①

時間外等の加算

四肢加算

・・・算定不可

神経の手術

血管の手術

形成の手術

・・・対象外！

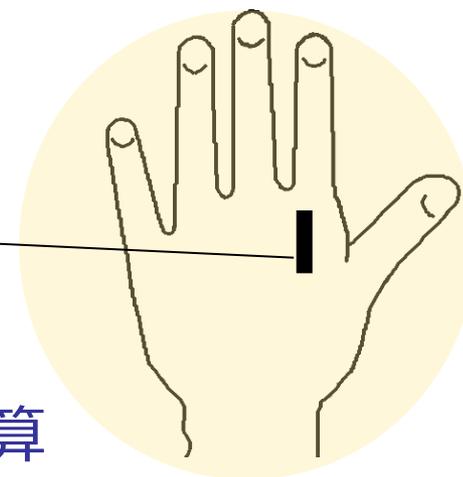
算定例3

時間外に次の手術・指導を行った場合

左手
第2中手骨

[K046 骨折観血的手術
初期治療における機能回復指導

骨折観血的手術



骨折観血的手術3 時間外加算2 四肢加算

11,370点 × 1.4 × 2.0 = 31,836点

機能回復指導加算 190点

合計

32,026点



術中透視装置使用加算

220点

	対象部位	対象手術
ア	大腿骨、下腿骨、 上腕骨、前腕骨、 手根骨、中手骨、 手の種子骨、指骨、 足根骨、膝蓋骨、 足趾骨、中足骨、 鎖骨	骨折観血の手術 骨折経皮的鋼線刺入固定術 骨折非観血的整復術 関節脱臼非観血的整復術 関節内骨折観血の手術
イ	脊椎	経皮的椎体形成術 脊椎固定術、椎弓切除術、 椎弓形成術

術中透視装置使用加算

220点

	対象部位	対象手術
ウ	骨盤	骨盤骨折非観血的手術 腸骨翼骨折観血的手術 寛骨臼骨折観血的手術 骨盤骨折観血的手術 (腸骨翼骨折観血的手術及び 寛骨臼骨折観血的手術を除く)

術中透視装置使用加算

220点

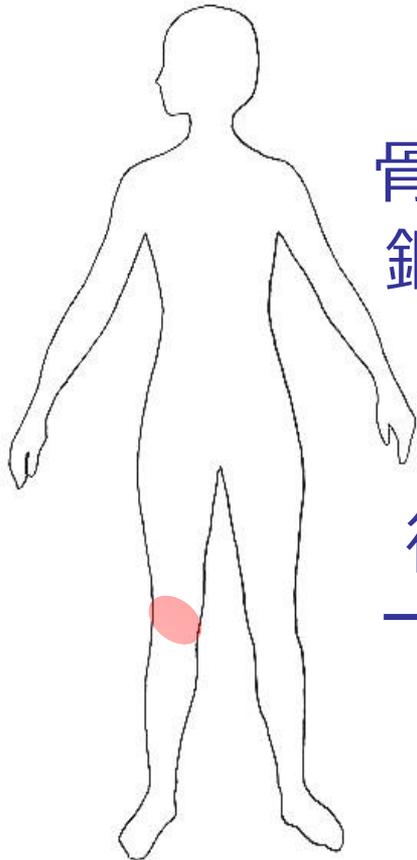
ポイント①

四肢加算 算定不可

算定例 1

右膝蓋骨に次の手術を行った場合

K045 骨折経皮的鋼線刺入固定術
(術中透視装置使用)



骨折経皮的

鋼線刺入固定術3 四肢加算

2,190点 × 1.5 = 3,285点

術中透視装置使用加算 220点

合計

3,505点

術中透視装置使用加算

220点

ポイント①

四肢加算 **算定不可**

ポイント②

- ① 手根骨、中手骨、手の種子骨及び指骨（以下「手」という） 又は 足根骨、足趾骨及び中足骨（以下「足」という） について、複数の手術を同時に行い、術中透視装置を使用した場合、併せて1回の算定
- ② 右手、左手 又は 右足、左足にそれぞれ手術を行い、術中透視装置をそれぞれの手 又は 足に使用した場合、それぞれ1回まで算定

算定例2

次の手術を行った場合

左第2指基節骨
左第4指末節骨
右第3指中手骨

K046 骨折観血的手術
(術中透視装置使用)

左第2指 左第4指	骨折観血的手術3	四肢加算	
	11,370点	× 2.0	× 2
			= 45,480点
右第3指	11,370点	× 2.0	= 22,740点
術中透視装置 使用加算	220点	× 2	= 440点

合計
68,660点

第4編

手術料

ご清聴ありがとうございました。